

せせらぎ SeSeragi



漢方のよさ No.136 号 ～ 漢方の流派VI～

発行日：2016年7月5日(火)

発行者：浮田 徹也

発行所：医療法人 せせらぎ会 浮田クリニック

〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1

☎077-574-3751 ☎077-574-3792

🌐 HP: <http://www.ukita.gr.jp>

✉ e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

1679年から1680年にかけて、オーストリアの首都ウィーンを襲ったペストの惨禍をモチーフにしたウィーンの民謡「愛しのアウグスティン」、作詞・作曲は、当時ウィーンにいた通称マルクス・アウグスティン(Marx Augustin 1645～1685)、「リーデルリヒの兄貴」と呼ばれる街楽師、吟遊詩人で、バグパイプを抱えて町外れを歩き回り、皇帝や役人をおちよくる楽しい風刺歌で、「愛しのアウグスティン」という名で人々から親しまれていた。ペストが流行していたある晩、心から愛する恋人をペストで失くした悲しみに耐えられなく大酒を飲んで家に帰る途中で、通りがかりの教会前の墓穴(死体をほうり込む大きな穴)に酒を飲みすぎて落ちて、死体と一緒にたになっているところを翌朝になって発見されたい。死体の上で眠るという、なんとも最悪な一夜だったようだが、無事に引き上げられて、怪我もなし、ヤケ酒の殺菌作用で運よくペストにも罹らなかったそう。

ウィーン風のヴァイオリン(シュランメルン楽団の演奏など)で聴くと、どこか甘く物悲しく、人生にはどんな時でも喜びや希望の余地だってあると教えてくれる。

Ach, du lieber Augustin Augustin, Augustin, ああ かわいいアウグスティン

Ach, du lieber Augustin Alles ist hin! ああ かわいいアウグスティン みんな無くなってしまった

Geld ist hin, Mädl ist hin, Alles ist hin, Augustin! お金も 恋人も みんな無くなってしまった

Ach, du lieber Augustin, Alles ist hin! ああ かわいいアウグスティン みんな無くなってしまった

Rock ist weg, Stock ist weg, Augustin liegt im Dreck. 上着も無いし杖も無い 泥に横たわるアウグスティン

Ach, du lieber Augustin, Alles ist hin! ああ かわいいアウグスティン みんな無くなってしまった!

Und selbst das reiche Wien, Hin ist's wie Augustin 豊かなウィーンも無くなった アウグスティンと同じように

Weint mit mir im gleichen Sinn, Alles ist hin! 同じ気持ちで私は涙する みんな無くなってしまった

O du lieber Augustin



Jeder Tag war ein Fest, Jetzt haben wir die Pest!

毎日がお祭りだったが 今やペストが大流行

Nur ein großes Leichenfest, Das ist der Rest.

残っているのは 長い葬式の列だけ

Augustin, Augustin, Leg' nur ins Grab dich hin!

アウグスティン 墓に眠れ

Ach, du lieber Augustin, Alles ist hin!

ああ かわいいアウグスティン みんな無くなってしまった

みなさんもよく知っているメロディなので口ずさんでみてください。

漢方の流派VIのお話。せせらぎ49号、57号、61号、73号、79号、87号、99号、114号も参照してください。

中国では1368年、モンゴル族の元王朝が朱元璋(洪武帝)により倒され、漢民族の明が誕生した。その明王朝の医学は明に留学した医師たちによって日本に伝えられた。明時代、「黄帝内経」研究書として「素問靈枢註証發微」(馬玄台)、「類経」(張介賓)、本草書として「本草綱目」(李時珍)、その他治療書として「医書大全」(熊宗立)、「医林集要」(王璽 カジ)、「医学正伝」(虞搏 ガタ)、「薛氏医案」(薛己 セツ)、「医学入門」(李梴 リン)、「万病回春」(龔廷賢 キョウテイケン)、「仲景全書」(趙開美)、「傷寒論条弁」(方有執)が書かれた。入明医師達はこれらの書物を熟読したことであろう。その先駆けは、竹田昌慶で、1369年明に渡り、金翁道士の下で修業し、「外台秘要方」と鍼灸用の「人体模型銅人形」を日本に伝え、帰国後は足利義満に法印として仕え、名家「竹田家」の祖となった。月湖は明の錢塘(セトウ)で医業を行い、田代三喜に李朱医学を伝え、彼の著した「全9集」は江戸時代初期の中心的な医学書の一つとなった。南北朝時代から続く坂家の出の坂浄運は、明から帰国後「続添鴻宝秘要抄」(バ ケンコヒヒヨウショウ)を書き、足利義政の侍医となり、吉田正方院家の子孫を持つ。和気氏の出の半井明親(ナライチカ)は、熊宗立(クウソウリツ)の子孫に医を習い、子孫は江戸時代は幕府医官として活躍した。熊宗立は儒家、医家、出版事業家で、「医書大全」を始め多くの書物を刊行した、彼の住む福建は日明貿易の拠点であった。日本で最初の医書出版は「医書大全」で、堺の豪商、産科医の阿佐井野宗瑞(アサノノスガ イ)が熊宗立を参考に行った。これにより明医学が急速に日本国内に普及していった。



① ホーエンザルツブルグ城 (Festung Hohensalzburg)
大司教ゲープハルトはローマ法王と神聖ローマ皇帝の司教任命権をめぐる闘争中、法王側につき、1077年に防御のための城塞、ホーエンザルツブルクを建て、その後、コンラッド世(1160-1147)によって完成した。15世紀と16世紀(いわゆるハンガリーとの戦争と農民戦争の期間)には、大司教レナバルト・フォン・コイチャツハ(1495-1519)は身をまもるためにホーエンザルツブルクに移り住み兵器庫と貯蔵庫を増築し、城塞を大きくした。補強に補強を繰り返し現在の姿になったのは17世紀である。



② モーツァルト像 Mozart Platz(モーツァルト広場)
モーツァルト像はモーツァルト広場に立つ。近くのレジデンツ広場にはレジデンツと大聖堂が建っている。ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトはオーストリアの作曲家、演奏家。古典派音楽の代表で、ハイドン、ベートーヴェンと並んでウィーン古典派三大巨匠の一人。神聖ローマ帝国皇室宮廷作曲家、神聖ローマ帝国皇室クラヴィニア教師、ヴェローナのアカデミア・フィラルモニカ名誉会長などを務めた。

では、**実例**に移ります。

夏ばて、34歳、160cm、42kg、150/90、月経異常（一）、最近疲れやすい、夜睡眠時間は不足していないが昼間眠い、梅雨時期や暑い季節になるとしんどくなる、のぼせ易く、足は冷える。以前から、時々めまいも起こりやすく、口も渇きやすい。動悸(-)、hotflush(-)。顔色は悪い、腹は弾力低下、脇胸苦満軽度、心下痞、臍傍悸、臍下不仁。舌は淡紅色、乾薄白苔、脈は沈細。貧血(-)、肝及び腎機能正常。そこで、柴胡桂枝乾姜湯を処方した。2週間後、口渇なくなり、疲れ、眠気など減少する。4週間後、暑い季節になったが、疲れもなく過ごしている。2ヶ月後、暑さもややへり、例年なら、疲れが出てくるが、今年は元気を維持できている。4ヶ月後、調子が良いので継続中。

夏ばて、37歳、165cm、53kg、120/70、月経周期不順、1ヶ月前から体が重く、心臓がドキドキして、頭が重くなり、循環器内科を受診したが異常ないと言われた。疲れやすい、体がだるい、梅雨時期や暑い季節になると例年しんどくなる、のぼせ易く、足は冷え、秋から冬にかけてしもやけと下腹部痛に悩む。以前から、時々腰痛と水で冷えると尋麻疹が起こる。顔色はやや赤っぽい、腹は弾力性なく、脇胸苦満(-)、心下痞(+)、臍傍悸(+)、臍下不仁(+)。舌は淡紅色、乾薄白苔、脈は沈弱。貧血(-)、肝及び腎機能正常。そこで、清暑益気湯+五苓散を処方。2週間後、動悸なくなり、疲れ、だるさ、頭の重さなど減少する。4週間後、暑い季節になったが、疲れやしんどさもなく過ごしている。2ヶ月後、暑さも遠のいてきて、例年なら、疲れが出てくるが、今年は元気を維持できている。4ヶ月後廃業。

尋麻疹、57歳、160cm、63kg、160/95、月経周期不順、甲状腺機能亢進症(20歳から)、多汗症(30歳から)、尋麻疹(37歳から)、自律神経失調症で、メルカゾール、降圧剤、抗ヒスタミン剤を服用中。多汗、疲れやすい、口渇、暑がり、驚きやすい、むくみやすい、のぼせやすい。顔色は赤っぽい、腹は弾力性あり、脇胸苦満(-)、心下痞(+)。舌は紅色、乾薄黄苔、脈は浮数緊。貧血(-)、肝及び腎機能正常。そこで、白虎加人参湯+桔梗石膏を処方。2週間後、尋麻疹と驚きやすいことが減った。4週間後、むくみも減ってきた。2ヶ月後、多汗と口渇が改善し始めた。6ヶ月後飲んでいると体楽なので継続中。

膀胱炎、45歳、164cm、62kg、126/87、月経周期正常、毎月膀胱にかかることが1年続いている。泌尿器科で腫瘍など言われていない。糖尿病、高血圧、腎臓病などもない。頻尿、残尿が強い。口渇、暑がり、不眠(夜何回も目が開く)、食欲低下、のぼせやすい。顔色は少し赤い、腹は軟弱、脇胸苦満軽度。舌は淡紅色、乾薄黄苔、脈は浮数細。貧血(-)、肝及び腎機能正常。そこで、清心蓮子飲を処方。2週間後、症状軽減。4週間後、不眠も減ってきた。2ヶ月後、調子良い。1年後も症状再発なく廃業した。

[院長]

夏ばて

もともと、胃腸(脾)の弱い方、イライラする方、上半身に比べ下半身の弱い方。暑さや湿気や冷房で、食欲、発汗、排尿、排便が不調になり、疲れ、だるさ、むくみ、意欲低下、不眠、微熱の続く方。漢方薬をお試し下さい。体のだるさ、食欲不振、むくみなどの症状が取れてきます。その他の身体症状も改善し体力も強化されます。



尋麻疹

食物、薬剤、日光、寒冷、刺激(雑草、虫、髪の毛)、発汗、圧迫、感染(慢性扁桃腺炎、胃潰瘍(ヘリコバクターピロリ)など)の原因対策をすべきです。抗ヒスタミン剤、抗アレルギー剤、副腎皮質ホルモンだけでなく、漢方薬も利用してください。過労やストレスも原因のひとつです。



膀胱炎

急性膀胱炎の症状は頻尿、排尿痛、残尿感。抗生物質で、3~5日ぐらいで消失。冷えや過労、長時間排尿のがまんによる慢性膀胱、糖尿病や前立腺肥大などによる下部尿路通過障害、神経因性膀胱(膀胱および尿道を支配している知覚・運動神経がおかされ、排尿機能が異常になる)、尿路結石などの複雑性膀胱炎もある。冷えによる頻尿は寒くなると膀胱が拡張しにくくなって、頻尿に尿意を感じやすくなる。神経性頻尿は、精神的な緊張や感情的な興奮によって、膀胱の緊張が高まるために起こる。東洋医学の治療は、急性・慢性、いずれの膀胱炎の治療にも効果を発揮する。



漢方予約外来

漢方専門医(兼漢方専門医指導医)に本格的な漢方治療を希望される方のために「漢方予約外来」を9月から始めます。
ご希望の方は当院受付又はお電話で診療時間内に予約してください。
診療日時：毎週金曜日午後2時~3時20分、一人20分。

漢方入浴剤

アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

ごゆうせい

呉有性((1592~1672))

明代の人で、江蘇呉県で活躍し、その一生を伝染病研究に注いだ。名を有性、字を又可の呉有性は「瘟疫論」(1642)の中で、伝染病の原因を雑気(すなわち細菌の概念)ととらえ、風、寒、暑、温などによるものでなく、雑気は口や鼻から体内に入り、膜原(すなわち横隔膜のあたり)で増え病気を引き起こすと考えた。また、伝染病の流行を季節的、周期的、流行、散発などに分類し、伝染経路を空気感染と接触感染とした。イギリスのリスターが1867年伝染病の原因、微生物を発見する200年以上も前である。戦が頻繁にあり、「瘟疫論」著作前年は山東、浙江、河南、河北等の地に瘟疫が流行したようだ。

剤型

エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。

漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。25～30分煮て作ります。当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫（冷凍庫）で保管して下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害…などすべての症状。

漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性肺炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、带状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病…

漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用…

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診察法（四診）や検査（超音波、血液、便、尿、痰膿分泌物、心電図、骨量測定…

妊婦健診 携帯またはパソコン予約

当クリニックではWEB(携帯・PC)予約システムを導入しています。日時指定のご予約が可能です。

妊婦健診WEB予約受付時間

午前9:15～午後12:15 午後4:45～午後6:45

ご来院窓口受付時間

午前8:30～午後12:30 午後4:30～午後7:00



- 受付時間以内であればWEB予約受付終了後でも来院窓口で対応させていただきますが、予約の方が多い場合は待ち時間が長くなることがあります。
- 予約の方は余裕を持ってお来ください。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています（妊娠16～22週）。詳細は受付でお聞きください。

入院食（手作り）

厨房スタッフの作る心のこもった手作り料理です。旬の素材、味付け、メニュー…など、絶えず工夫し研究しています。パンも焼き立てを用意します。退院前日、当院4階のレストランでディナーをお楽しみください。



※写真は一例です

ママのごほうびアロマトリートメント

ご分娩された方全員にボディアロマトリートメントをプレゼントしています。当院が行うアロマトリートメントはメディカルアロマセラピストが行うものです。問診表よりママの体調やアレルギーを考慮し、20種類の精油より一人ひとりに合わせて選び合います。フランスの医療現場でも使われている最高品質のメディカルグレードの精油を使用しておりますので、産後の敏感な時期でも安心してトリートメントを受けていただけます。至福のひと時をお過ごしください。



健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は早急に受付に連絡して下さい。

ホームページ（<http://www.ukita.gr.jp>）

- ・トップページ（お知らせの欄、診療日程カレンダー）
- ・産科と婦人科のページ（入院、食事、各種教室、指導）（癌検診、不妊症、更年期障害）
- ・漢方治療のページ（漢方治療）
- ・各検診と予防接種のページ（健診、ブライダルチェック、予防接種）
- ・当院の施設案内、当院への交通（車、J R）

分娩予約

妊娠20週までに 受付で予約をして下さい。ご来院がむづいようでしたら一度連絡を頂ければ適宜ご対応させていただきますので、まずはご連絡下さい。予約された方には、入院誓約書、直接支払い制度合意書をお渡しします。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付けています。妊娠20～24週頃にスクリーニング外来（ママと赤ちゃんの状態をチェックします）にて診療いたしますので、ご予約お願いいたします。もし、時間の調整ができず、受けておられなくても里帰り出産は可能ですのでご連絡下さい。当院での妊婦健診は妊娠34週頃から受けて下さい。

提携病院との密な連携診療

当院は、

- ・大津赤十字病院 産婦人科、新生児科
- ・大津市民病院 産婦人科
- ・滋賀医科大学付属病院
- ・京都大学医学部付属病院
- ・京都第一赤十字病院 産婦人科

の病院と提携していますので、妊婦さんや赤ちゃんに何かあればすぐに連携して診察に当たりますのでご安心ください。



外来用診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診療(午前9時～12時30分)							
産科	恵医師	恵医師	副院長	院長	副院長	副院長	－
婦人科	副院長	副院長	恵医師	恵医師	恵医師	女性医師	－
漢方	院長	院長	院長	院長	院長	院長	－
産後母子健診	－	○	－	○	－	○	－
助産師外来	○	－	○	－	○	－	－
母乳外来	○	○	○	○	○	○	○
予防接種・胎児スクリーニング・乳児健診(午後2時～4時)							
予防接種	院長	－	院長	－	院長	－	－
胎児スクリーニング	副院長	－	副院長	－	副院長	－	－
乳児健診	院長	城山医師	院長	－	院長	－	－
母乳外来	○	○	○	○	○	○	○
午後診療(午後4時30分～7時)							
産科	副院長	－	副院長	－	副院長	－	－
婦人科	院長	－	恵医師	－	恵医師/院長	－	－
漢方	院長	－	院長	－	院長	－	－

院長：浮田徹也、副院長：浮田真吾、恵医師：浮田恵、女性医師：交代

■女性医師外来：

毎日対応します。土曜日は京大病院からの女性医師が担当します。

■漢方専門医の漢方外来(月～土)：

内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科領域に対して、日本東洋医学会漢方専門医が診察及び東洋医学の治療をします。来院順に診察します。予約外来ではありません。9月から「漢方予約外来(午後2時～3時20分)」を始めます。

当院は、日本東洋医学会漢方専門医研修施設に指定されています。

■産後母子健診：

火曜日・木曜日・土曜日：9:00～予約制 お一人様60分 当院退院後5日目の赤ちゃんとのママの状態の診察と保健指導を行います。

■乳児健診：

毎週火曜日には、しほやま赤ちゃんこどもクリニック 城山医師による1ヶ月健診を行います。

毎週月水金曜日は、院長による乳児健診を行います。

■胎児スクリーニング外来：

妊娠20-24週の方。月曜日水曜日金曜日 午後2時～4時、1人20分前後。予約制。

当院で分娩の方3000円 他院分娩の方5000円

■予防接種 ワクチン接種外来：

インフルエンザ、BCG、四種混合(DPT-IPV)、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、ポリオ、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)、子宮頸癌予防ワクチン、その他

■母乳外来(電話予約制)：

退院した後のママと赤ちゃんの母乳相談や育児相談をプロの助産師がサポートします。

授乳や赤ちゃんの体重の増え方、ミルクの飲み具合等について何でもご相談下さい。

当院で出産された方 3000円 他院で出産された方 4500円

■不妊外来(月～土)：

タイミング指導やホルモン治療や漢方薬治療や精子検査を実施。人工授精も行っております。兵庫医科大学医師の不妊外来は1月1回あります。

■更年期外来(月～土)：

漢方薬やホルモン剤やプラセンタ等による総合的な診察を行います。

■日本抗加齢学会専門医のアンチエイジング外来(月～土)：

更年期障害、産後乳汁分泌不全の場合は、健康保険での保険診療。その他のアンチエイジングの場合は、自費診療となります。

プラセンタ注射、プラセンタ内服薬やドリンク剤等取り揃えております。

その他、各種プラセンタ化粧品もありますのでご相談下さい。日本抗加齢学会専門医が対応します。

■コルポスコピー検査：

子宮頸癌細胞診で問題のあった方には当院で実施します。

■助産師外来(月水金午前中)：

当院の妊婦健診のうち、妊娠35週～36週頃の妊婦健診を助産師外来とさせていただきます。

皆さんお一人、お一人と触れ合いながら、おひとり45分程度の時間(予約制)をかけ、「自分らしい」妊娠・出産・育児を創りあげていけるよう、バースプランに沿った支援を心がけます。母乳育児にそなえておっぱいのお手入れの方法もお話します。妊婦健診補助券を利用します。(ただし、大津市以外の方は差額をお支払い頂く場合があります。)

■前・中期-ママクラス：無料(当院で分娩の方対象) 第1土曜日(10:00～12:00) 第3土曜日(13:30～15:30)

立合い分娩の方は特にご参加ください。ママクラスでは院内冊子(HELLO BABY)にそってお話します。

■後期-ママクラス：無料(当院で分娩の方対象) 第1木曜日(10:00～12:00) 第2,3,4土曜日(13:30～15:30)

立合い分娩の方は特にご参加ください。ママクラスでは院内冊子(HELLO BABY)にそってお話します。

■パパママクラス：無料(当院で分娩の方対象) 第2,4土曜日(13:30～15:30)

パパに妊婦生活を疑似体験してもらい、出産するママについて学んでもらいます。

■着帯教室：無料(当院で分娩の方対象) 第4火曜日(14:00～15:00)

腹帯の巻き方にはコツがあります。きっちりとご指導します。

■マタニティヨガ：当院分娩の方は1,000円、他院分娩の方は1,500円 前期第1火曜日(14:30～16:00) 後期第3火曜日(14:30～16:00)

マタニティヨガインストラクターによる教室です。

■マタニティフラダンス：参加費500円 初回参加の方第2金曜日(15:00～16:00) 2回目以降の方第4金曜日(15:00～16:00)

マタニティフラを通じてお腹の赤ちゃんと一緒に踊りましょう。

■うきこクラブ：当院で生まれた赤ちゃん対象 ジェアス第1木土曜日(14:00～16:00) ジェアス第3,4木曜日(10:00～12:00)

育児・おっぱい・離乳食についてにんなで話合しましょう。1ヶ月～12ヶ月の赤ちゃん。

■ベビーマッサージ：当院で生まれた赤ちゃん対象 第2水曜日(10:00～11:30/13:00～14:30)

わらべうたベビーマッサージを通じて、ママと赤ちゃんのスキンシップを育みましょう。